



旧暦の1月7日に行われる伝統行事

猿賀神社の七日堂大祭が開催

2月4日、猿賀神社で七日堂大祭が行われました。

大祭では「柳からみ神事」が行われ、奉仕者の三上隆志さんが4mほどの柳を打ち付け、枝のこぼれ具合で農作物の出来を占いました。その結果、2025年は「良くて平年並み」とのご託宣が出されました。

この後、境内では「ごまの餅まき神事」が行われ、集まった人たちが、ごま入りの紅白の餅をお守りとして拾っていました。



宮崎県で平川市産りんごのPR

りんごのトップセールスを実施

1月28日、市と津軽みらい農業協同組合は合同で宮崎県内の青果市場など3か所においてトップセールスを実施しました。市長は「平川市産のりんごは食味、品質ともに高く評価されています。平川市のりんごをよろしくお願いします。」とPRしました。

試食した方からは、「甘くておいしい」という声が聞かれ、箱で複数購入される方もいるほど好評でした。



健康づくりに関する取組を推進します

株式会社バイタルネットと健康増進に関する連携協定を締結

2月17日、市と株式会社バイタルネット（医薬品卸売業）は、健康増進に関する連携協定を締結しました。

本協定は、健康づくり、生活習慣病予防、がん対策、感染症対策などの分野で、相互に連携・協働し、市民の健康意識の向上と健康増進の啓発活動に取り組むものです。

今後は、セミナーや健康教室の開催を通して、専門的な知見をいただきながら、地域の健康課題に対応した事業を実施する予定です。



若者の視点を生かしたまちづくり

ユース議会活動報告会を実施

2月21日、若者が地域の課題を話し合い、まちづくり事業を提案する令和6年度平川市ユース議会の活動報告会が本庁舎で行われました。

今年度の活動では、平川市ユース議会のSNSアカウントをメンバー自らが開設・企画・運営し、市の隠れた魅力や風景、イベントなどの魅力発信を行ったことなどを市長らに報告しました。



ユース議会
Instagram



市補助金を活用して開発

りんごが丸ごと入ったブランデーの完成を報告

2月17日、平川市のタグポート株式会社は、りんごをまるごとブランデーに漬け込んだ「CRAZY DAYS GOLD DREAM EDITION」が完成したことを市長に報告しました。当商品は、地場産品を使った新商品開発などの経費を補助する市地域産業支援事業補助金を活用して製造されました。



寒さに負けずに

雪と子どもたちを開催

2月2日、子どもたちが雪と親しみ、交流することを目的としたイベント「雪と子どもたち」を文化センターで開催しました。当日は、市内の子ども会などから親子連れ約80人が参加しました。

当日は、そり引き競走や雪上かるたなどの雪上運動会が行われ、見ていた人たちからは大きな声援が送られました。

地域が主体的に健康教室を実施

「あんよから始める健康講座」が開催

3月2日、自治公民館主催事業として、柏木町コミュニティセンターで「あんよから始める健康講座」が開催されました。講師には、足のケアを中心とした健康法を实践するスマートフットワーク代表の境江利子氏を迎え、参加者たちは主に足を使ったエクササイズを体験しました。参加者たちは、「手軽で簡単なので、これなら家でもできる」と楽しみながら受講していました。



旧暦1月15日に年縄奉納

町居町会の年縄製作・奉納

2月8日・9日、町居町会では、有志30人と町居年縄を守る会、町居敬神会の協力のもと、年縄の製作が行われ、しめ縄飾りが完成しました。製作に参加した女性は、「最近では近所の交流が少なくなっているの、参加できて楽しかった」と振り返りました。

完成した年縄は、旧暦1月15日となる2月12日、熊野宮とその境内にある二柱神社に奉納されました。